



祝 チャレンジスクール20周年

さいたま市では、市立の全ての小中学校で、子どもたちに学習活動や体験活動を提供するチャレンジスクールという事業を行っています。

この事業は、ボランティアが作る実行委員会が活動の内容や回数を決めて運営しています。

令和5年度のチャレンジスクールでは、延べ4万人がボランティアとして活動し、延べ11万7千人の子どもたちが参加したんだよ。



大東小学校のチャレンジスクールの活動を紹介します

活動の最初は、みんなで宿題に取り組みます。大東小学校はICTの先進校であることから、タブレットを使って学習する姿も見られました。

続いて、このチャレンジスクールの特徴である「論語」の学習です。10年以上続くプログラムで、教材はスタッフの方が作成しています。

最後は工作。子どもたちが作り方を教え合う場面が見られました。全体を通して、子どもたちの生き生きとした姿、そしてボランティアスタッフの方の熱意とチームワークが印象に残りました。



ボランティア

ボランティアスタッフ同士で、意見を出し合うこと、役割を分担すること、協力することを心がけています。



論語の学習。子どもたちがスラスラと暗唱していました



ボランティアの方の打ち合わせ

20周年の記念行事を開催しました

チャレンジスクールの前身である「地域子ども教室」は、平成16年にスタートし、今年で20年目となることから、その記念行事を11月に開催しました。行事では、これまでのボランティアの皆さんの活躍に感謝の気持ちを伝える動画を上映したほか、積み重ねてきた20年の振り返りとこれからのに向けての意見交換を行いました。



子どもたちからのメッセージに参加者も笑顔になりました

ことばの解説 教室コーディネーター

チャレンジスクールを運営するボランティアが作る実行委員会の中で、その中心的な役割を果たすボランティアです。他のボランティアや学校職員である学校地域連携コーディネーターと協力して実行委員会の運営を行います。

チャレンジスクールの運営に携わるボランティアを、「ボランティアシティさいたまWEB」で募集しています。



ボランティアシティ
さいたまWEB

PTAは、保護者と教職員とが協力して児童生徒の健全な成長を図るための組織です。
今回は、「さいたま市優良PTA」として表彰された団体の取組を紹介します。

片柳小学校のPTAの活動を紹介します

片柳小学校のPTAでは、PTA主催の **やなぎっ子フェスタ** のほか、自治会と連携して防犯ボランティアを募ったり、小学校のあいさつ運動に参加したりと、**地域の団体や学校と協働して活動**を行っているそうです。



熱気球の体験イベント



保護者

子どもたちは、地域の方々と直接関わり合うことで、自分たちが **地域の皆さんに支えられている**と感じているようです。

また、PTA活動に参加したいと思っているけれど、平日は仕事等の都合で参加できないという方が増えていることを受けて、**在宅ホリデー委員会**という仕組みを導入したそうです。

これまで学校で行っていたベルマークの集計作業や広報誌の作成といった作業を、**学校に来ることなく、自宅で担当していただける**体制を作りました。



PTA会長

このほか、SNSの公式アカウントを作って情報発信をすることで、活動の内容や方法などを会員に理解してもらえるように努めているとのことでした。



PTA会長

学校の部屋を一日お借りして、**活動内容について何でも聞くことができる Look in PTA** という会を設けました。

春里中学校のPTAの活動を紹介します



PTA会長

親子で参加できる公立高校の合同説明会を近隣の中学校のPTAと共同で開催しました。



合同説明会

公立高校18校の協力があり、見沼区・北区から650組を超える参加者がありました。また、共同開催とすることで、各中学校PTAの準備にかかる**負担を軽減することができた**そうです。

いろいろな学校の説明を聞くことができ、入試についての心配がなくなりました。子どもも目標となる学校を見つけることができました。



保護者

このほか、女子バレーボールの元日本代表選手や声優を招いた **夢を与える講演会** を学校と共催で行うなど、**地域や学校と連携して協働活動**をしているとのことでした。



PTA会長

保護者に理解していただくため、**役員の業務やPTA活動全般を紹介する動画**を作成し、役員募集にも活用しました。